

2026.6.18 (木)
第 47 回例会
(通算3856回)

2025-2026 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「笑顔と誇りを胸に、挑戦するロータリー」

会 長 荒井 剛
副 会 長 池田 一己
幹 事 横田 英喜
編集責任者 クラブ会報・雑誌・公共イメージ委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 三ッ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2025-2026 年度
国際ロータリーテーマ

『よいことのために 手を取りあおう』
UNITE FOR GOOD

2025-2026 年度
RI 会長 フランチェスコ・アレツツォ
第 2500 地区ガバナー
佐渡 正幸 (釧路北 RC)

本日のプログラム 一年を振り返って (三役・四大委員長) (理事会)

次週例会 キャンドルパーティ (親睦活動委員会)

- ロータリーソング：我らの生業 ■ソングリーダー：小林 悠介君
- 会員数 107 名
- ビジター
- ゲスト

会長の時間 荒井 剛会長



皆さん、こんにちは。昨日、分区の最後の会長・幹事会に横田幹事と一緒に参加してまいりました。これで分区の最後でしたので、この

ようなイベントが終わって、もうすぐだなあとホントに思っております。先週末は、国際大会の台北に横田幹事、西田さんと本間さんの 4 人で行ってまいりました。3 万 7000 人ぐらいが開会式に参加したのです。台北ドームに 1 回で入らないので、午前の部と午後の部で 1 万 7000 円、1 万 8000 円に分かれて開会式が行われて、私は午後の部に参加してまいりました。

1 万 7000 人もいるのに、パッと横を見たら葎本パストガバナーと漆崎パストガバナーがいました。こんなにいるのに何で同じ列にいるのだろうと、ちょっと思ったという話です。

開会式が終わった後に北海道ナイトが行われました。去年、カルガリーに行った時は 2500 地区と 2510 地区合同での北海道ナイトを行ったのですが、今年は 2500 地区から、割と大勢が参加するってことで、元通りの 2500 地区だけのナイトが行われました。行われた場所は丸山大飯店といって、巨大な建物なのです。『千と千尋』の映画にも出てくるような、本当に 10 階以上のキラキラした建物なのです。もともと、ここは蒋介石夫人である宋美齡さんが 1952 年に作っ

たホテルなのです。台湾で第 1 号の五つ星ホテルだったと聞いています。そこで北海道ナイトが行われて、美味しい食べ物を食べながら北海道 2500 から参加した人たちと交流を深めたのです。

せっかく国際大会に行きましたので、国際大会で何が行われているのかです。開会式・閉会式以外に常時、その開催期間中、友愛の広場というのがありまして、大きな展示会場でいろんなブースが出されているのです。それこそ、次年度開催予定のバルセロナから、「来年はバルセロナですよ」と言ってアピールしています。6 月の『ロータリーの友』に載っているのですが、ロータリーには公式な親睦活動グループが現時点で 120 以上あるのです。その 120 以上あるグループの細かい親睦グループのブースがその友愛の広場に設けられていたりしています。もちろん台湾で行われていますので、「台湾独自のグローバル補助金でこのようなこと行いました」というブースがあったのです。

せっかくですので私はひとりでブラブラと歩いていたら、私の趣味がバードウォッチングですがバードウォッチングという親睦活動グループがありました。そこに飛び込んで行って、2 人の人に話しかけたところ、驚かれて「どこから来たのですか」と言って、「北海道の釧路ですよ」と話したりしました。

そうすると、「日本人のメンバーが誰もいない」と言っていて、「いや、そんなことないだろう」と、野鳥の会だとか、どれだけバードウォッチャーが日本にはいるというのを思いながら話をしたら、「1 人もいない。お前が初めてだ」と言われて、これはまずいと思う

たのですが「わかりました、仲良くしましょう」と言いました。「釧路から来たのだとすると、私達はその鶴を本当に見られるのか」と言われて、「鶴なんて日常的に見えますよ。釧路に住んだなら、少し車運転したらすぐ見られますよ」と言ったら、「すごい、すごい」と、うらやましがられました。

という話をすると、日本人初だ、鶴を見たいとなると、ちょっと行きたいとか言われたらどうしようかなと思ったので、「次があるので」と言って私は早々に退席しました。でもその後、名刺に書かれたメールアドレスや Facebook で「これからもよろしくね」という連絡が来ましたのでコンタクトは取り続けていこうと思っています。

この後、三役・四大委員長の振り返りがありますので、そこでまたお話ししますので、会長のあいさつはこれで終わらせていただきたいと思います。よろしくお願いします。

幹事報告 横田 英喜幹事

幹事報告をさせていただきます。先週に引き続きましてパーソナルボックスからまだ荷物を持って行っていない方、今日お持ち帰りいただければと思います。今年度も次週で終わりとなりますので、活動報告書を提出しなければいけない方、データは送っておりますので、提出期限までに提出の方をよろしくお願いいたします。以上となります。

退会のごあいさつ

NHK釧路放送局長 桑嶋 洋平君

3年間、お世話になりました。私が新入会員の時にここで申し上げたかもしれないのですが、1991年、平成3年にNHKに就職して、最初の勤務地が釧路でした。ここで6年間、記者として修行して、その後東京とか日本中のいろいろな所に転勤して、30年ぶりぐらいに局長として戻ってきています。私たちの組織でもちょっと珍しいパターンでしたが、やはりこのロータリークラブをはじめ、局長にならないと見えない景色というのがいくつもあって、初任地の時の6年の半分ぐらいの期間でしたけど、とても濃密な3年間だったなと今いろいろ振り返っております。

その6年の間で結婚をしました。私の妻は釧路の人間です。浪花町に義理のお母さんと義理のお姉さん夫妻、甥っ子もいます。私は今度、札幌に転勤するのですが、今までのパターンですと、お盆とかお正月には多

分、イオンとかでウロウロしているかもしれませんが、「ああ、来ているのだな」ということで見ていただければと思います。

私自身は、今度行くのは札幌放送局ということで、主に管理系の職場の経営管理センターという所に行くのですが、今までやってきた放送の分野とは少し違うところをやってみたいなと思ってやってみることにしました。

ただ、申し上げたように、年に2〜3回は多分釧路に来ますので、この幣舞橋を通過して、このホテルが見えた時には今日もやっているのかなと、すごく遠くからですけど、皆さまにエールをお送りできればと思っています。

90周年など大きなイベントがある中で、何の力にもなれませんでした。皆さまのご健康と90周年をはじめ、いろんなイベントの成功とロータリークラブのますますのご発展を祈念いたしまして挨拶に代えさせていただきます。

本当にありがとうございました。

退会のごあいさつ

北海道電力ネットワーク株式会社

釧路支店長 桑原 岳広君



皆さん、こんにちは。ほくでんネットワークの桑原でございます。この度、6月29日付けで札幌にある本店へ異動することになりました。

た。歴史と伝統のある釧路ロータリーの一員としてお仲間に加えていただいたこと、ちょうど2年になりました。昼夜の例会と委員会活動で、それからNAYUTAの会などで皆さまとともに楽しく、そして有意義な時間を過ごさせていただきました。

皆さまとお話させていただく中で、道東、釧路地域のいろいろなことを学ばせていただいたことは、私の本当に貴重な財産とすることができました。心より感謝申し上げます。

今年度は中島委員長の下、親睦活動委員会で毎月のように楽しく過ごさせていただいたこともあり、本来であれば来週の今年度の締めくくりとしてキャンドルパーティーに参加させていただいて、お祝いをさせていただき、区切りにさせていただければと思っていたのですが、スケジュール都合がかなわず、それが非常に残念でなりません。

移動先は、配電部という所に行きます。皆さまのご家庭や企業の所に電気をいかに安定的に供給するかを考えるような部署です。皆さんに最も、お客様に最も近い技術部門です。私はもともと出身母体が配電部門で、

今度はそこで責任者としての仕事をさせていただくことになります。

今、話題の太陽光連携とかがありますけども、そういう太陽光連携も扱う部署でもあります。例えば、昨年の12月に低気圧があって、全道的に荒れて停電になったとき、不安定な電気になったときには、桑原が頑張っているかなと思い出していただければと思います。短い期間でしたけれども、この釧路で皆さまとご縁いただいたことを大変感謝しております。今後は、私も釧路の応援団のひとりとして、札幌でこの釧路の涼しさ、釧路の良いところを発信させていただきたいと思えます。強烈に札幌からも釧路応援させていただきますので、よろしくお願いいたします。

結びになりますけれども、この釧路ロータリークラブの皆さまのご発展と、それから先ほど桑島さんからもありましたけど、今年90周年の節目で大事な記念事業が成功裏に終わりますことをご祈念申し上げます。私の最後のご挨拶にさせていただきます。2年間、本当にどうもありがとうございました。

■本日のプログラム■ 年を振り返って（三役・四大委員長）

荒井 剛会長

こんにちは。この例会はクラブ協議会のひとつとして位置づけられています。4回あるクラブ協議会のうちの最後になりますので、年間活動の総括ということで、トップバッターとして会長である私のほうから1年を総括させていただければと思います。

この例会を含めて、本当にあと2回で終わることになります。今、本当に感じているのは、来週もお話しさせていただく時間はあると思うのですが、本当に感謝しかありません。皆様の温かいサポートがあってここまで来られていると本当に思っております。

今年のスローガンは、『笑顔と誇りを胸に挑戦するロータリー』と掲げました。最初にお話をしたと思うのですが、笑顔というものは、楽しいから笑っているのではないのです。笑顔でいるから楽しいことが起きるのです、とずっと思って生活しております。

釧路の場合は、人口がどんどん減っていく。釧路だけではないですけども、特に釧路では人口が減っていく。特に生産人口に当たる真ん中の人口が減っていくということで非常につらいなと思っております。特に青少年の育成なり、青少年へのケア、青少年の笑顔が本当に大事なのだと思っております。青少年が笑顔になれ



るような活動ができればいいなと思っていました。

その中でも釧路ロータリークラブは、例年やっております釧路ロータリーカップ・アイスホッケーの大会でアイスホッケーに関わる青少年の笑顔を見ることができました。分区事業ではありますが野球大会が横田幹事の働きによって、ウインドヒル、昔の市民球場で大会をできたことは大きかったと思います。

私の息子もずっと野球やっていたので、私の息子と同年代の、あるいは後輩たちが市民球場でやっている姿を見ていて、最後の決勝でサヨナラヒットを打った人が僕をよく知っている子だったので声をかけると、その子も私のことを覚えていたというエピソードもありまして、本当に良かったなと思っております。

また、社会奉仕事業では、釧路湿原探索事業を3年目となる地区補助金を使って、小学校の生徒たちと一緒に湿原の中に入って、やちぼうずなどを一緒に体験することができ、子供たちも湿原の素晴らしさに気づいていることがあって、素晴らしい事業だと思いました。青少年のくくりではないのですが、若者に向けたことでは、ローターアクトとインターアクトの活動についても、より注視をしようと思っておりました。できる限りだったのですが、ローターアクトの例会にも横田幹事と何回か参加して、身体障害者の体を動かすスポーツ、ボッチャと一緒に体験しました。あるいはローターアクトの釧路で行われた地方協議会にも参加して、ローターアクトの人たちの熱、ロータリークラブとは別にローターアクトの若者たちが、自分たちが普段どんな思いで、地域のためにやっているのかも体験することができたので良かったなと思っております。

また、『誇り』という意味では、ロータリークラブそのものは、もう120年の歴史がありますし、体を動かす釧路ロータリークラブは来年90周年を迎えるということで、歴史と伝統があるわけですね。この90年、120年という歴史があるということ、そのもの自体に誇りを感じてもいいのではないかなと思っておりますので、ロータリークラブそのものの意義をもう1度見つめ直す。また、釧路ロータリークラブに所属していることの意義、自分がロータリアンだということに誇りを持ていただきたいという思いもあり、国際ロータリーの関係では内容は難しいですけども、規定審議会について小船井パストガバナーに話していただきました。また、ガバナーの役割は何なのか、どういう意味があるのかについても吉田潤司パストガバナーから話していただきました。

また、ロータリーソングということでは、初めて歌われたロータリーソングは何かを調べて発表しました。拙い曲ではありましたが、自分がA Iを使って釧路ロータリーソングを作った曲を何回か披露したこともあります。それもロータリーソングをとおして、ちょっ

と楽しい気持ちになって、釧路ロータリークラブについての誇りを感じていただきたいなと思って、実験的にその話をさせていただきました。

本当はもう少し多くやりたかったのですが、釧路ロータリークラブの会員歴が長い先輩ロータリアン、今年は尾越さんと舟木さんにお話をさせていただきました。これまでの人生、自分たちの人生について語ってもらって、それを今の若い、入会歴が浅い釧路ロータリーのメンバーにも聞いていただきたいと思い、話をさせていただきました。

最後、『挑戦』に関してはSNSの時代ですので、当初は毎月、あるいは毎回、会長通信とかをやろうと思っていたのですが、工藤エレクトから「毎週やられると次年度が大変だ。止めてくれ」と言われたので、そういうこともあって、今日もそこに座って一生懸命やってもらっている日理副幹事が、本当に毎週、例会終わった後、この例会の中身をかいつまんで概要を釧路ロータリークラブのFacebookに面白おかしく投稿しています。最後のオチには横田幹事に持っていくのですが、そのFacebookの投稿を釧路ロータリークラブ以外の方が非常に楽しみに見ているということが、この1年をとおしてよくわかりました。あと2回ありますが、日理副幹事、どうぞよろしくお願いします。

私個人の努力としては、Facebookの投稿のときに、ふたつのピンバッジをしているのです。基本のロータリーバッジの他にロータリーバッジを付けていることもありますし、全然関係ないピンバッジも付けていることがあります。毎回、違うようにして、Facebookに投稿したりします。本日のピンバッジは先週、台北の国際大会で買ってきたピンバッジです。あと1回ですので、どんなピンバッジを付けようかなとちょっと考えております。

こんな感じで話をしてしまうとどんどん時間がなくなりますので、このスローガンになぞって、笑顔と誇りを胸に挑戦するロータリーの三つで1年を振り返らせていただきました。

本当に皆さまのサポートがあってここまで来たと思っております。あと1回ですが、気を抜かずに一生懸命やって90周年に向けて、工藤年度につなげたいと思っております。一年間、本当にありがとうございました。

クラブ運営委員会 佐藤 貴之委員長

皆さん、こんにちは。クラブ運営委員会の佐藤です。先週の月曜日、新旧合同理事会がありまして、今年度の理事と次年度



の理事が集まって引き継ぎをする場でした。そこで、次年度工藤会長が「最後までしっかりやれよ。掛け算に例えて、最後の九九81を82と言ったら、もう全てが台無しになるよ」とおっしゃっていました。私は横田幹事が何となく終わった感を出していましたが、その場にいたみんなは、横田幹事しっかりやれよ、の雰囲気だと思っていたのですけれども、その先週の月曜日時点で、クラブの各委員会は全部終わっているのです。終わっていないクラブが、私たちのクラブ運営委員会の傘下にある出席とプログラムと親睦です。よくよく考えたら、私に言っているのかなと感じまして、今日は時間がないのですけれども、しっかり予習をしてまいりました。

まず、先週の例会で終わりましたプログラム委員会です。藤井委員長がおりまして、濱口副委員長、小船井パストガバナーがプログラム委員会に入って副委員長になって支えていただいております。

今年は、外部講師が9名9回と、会員卓話が同じく9回やっております。今年の特徴としては、会員の皆さまにお話していただいて、普段どんなことをしているのかすごく貴重な話をさせていただいたと思っております。

過去のプログラム委員長を調べると、今年が藤井委員長で、去年が瀧波委員長、その前の後藤年度が八幡委員長、滝越年度が村上委員長、杉村年度が工藤さんということで、実は皆さんが次年度の理事でした。プログラム委員会というのは、エース級がやるのかなという感じです。そういうデータが残っております。

来年の佐々木さん、大丈夫でしょうか。転勤族だからといってうかうかしてられないのです。天方年度は池田いずみさん、釧路クラブ初の女性会員の方がその時、地区大会の司会をされております。大抜擢されるのではないかと考えておりますので、次年度、頑張ってくださいと思います。

今年度は、そういう形で藤井委員長、大変素晴らしい例会でございました。ありがとうございました。

続きまして、出席委員会と親睦委員会ですが、まだ来週まで仕事が残っております。出席委員会で水口委員長、五十嵐副委員長、お二人とも仕事の中身を熟知しております。確認したところ、「準備はできている。100%の表彰も、用意ができています」ということで、今日まで集計があるので一生懸命やっていただけたと思います。「小野田さんには本当に委員会メンバーよりも動いていただいた。出席委員会に入れてもいいのではないかと」言っております。今年度、あと1回ありますが、最後までよろしく願いいたします。ありがとうございます。

最後は親睦委員会です。私は夜の親睦委員会に出席することができなかったのですが、その間、大副委員長の天方さんが毎回のように出席していただい

て、私のサポートをしていただいております。親睦委員会も来週で最後になるのですけれども、しうて言えは、桑原さんが今年度活躍していただいて、最後の来週までいてくれとお願いしたかったのですけれども、できないということでした。何かの機会に来ていただければと思います。そういうことで今年度、まだ二つの委員会が残っておりますけれども、1年間、こういう形で進めさせていただきました。

一年間、皆様どうもありがとうございました。

クラブ広報・会員組織委員会 石井 孝行委員長

クラブ広報・会員組織委員長の石井です。まずはクラブ会報・八幡委員長、会員増強・小野寺委員長、クラブ研修・滝越委員長、それぞれ



1年間、各委員会の活動にご尽力いただきまして誠にありがとうございました。

八幡委員長におかれましては、毎週例会記録と今日もそうですが写真撮影、例会のまとめ、毎週続く結構ハードな役職でしっかり委員会活動を務めていただき、会をまとめていただきました。ありがとうございます。

小野寺委員長におかれましては、会員純増10名という目標を当初掲げ、入会の候補者リストの作成とか、また入会に近いような方々に声かけをしていただきました。

滝越委員長におかれましては、毎年テーマに難儀していると思われます炉辺会合において、これまではないアプローチのテーマを考えていただきました。今日来ておりませんが、滝越委員長にもお礼を申し上げたいと思います。

私、大委員長石井においては、会員増強を重点テーマに活動をしてきました。本年度10名の新入会員が入会しまして、そのうち純増は3名という結果となっております。本当は11名の会員入会で4名純増と言いたかったのですけれども、例会に参加しないと1回でも来ない限りは、入会は認めないということで、先ほど横田幹事からしっかり言われましたので、正確な数値としては10名の3名とでご報告させていただきます。

当然、この数字では目標達成とはいきませんでした、これで終わりとはせずに、入会候補者リストの作成を次年度以降に引き継ぐというシステム構築が今年度できましたので、引き続き積極的な会員増強を続けて、ゆくゆくは会員120名のクラブを目指していただきたいと思います。

私は次年度、別の委員会に移るのですが、引き続き会員増強のアンテナは張っていきたくて思っております。

す。一年間、皆様どうもありがとうございました。

奉仕プロジェクト委員会 松井 聖治委員長

奉仕プロジェクト委員会の松井です。時間がないので急ぎでいきます。

今年度、奉仕プロジェクト委員会の活動としては、得地委



員長の社会奉仕委員会では地区補助金を利用した湿原の学びのツアー、またその報告例会を実施させていただきました。なかなか釧路にいても、湿原を見る機会って少なかったの、とても良い事業だったなと思っております。

職業奉仕委員会の残間委員長ですけど、和商市場さんとNHKさんの2か所の訪問例会をさせていただきました。和商市場さんでは、お昼に勝手丼を食べるという例会で、僕が入ってから初めてキャスル以外でお昼を食べたなということと、意外と勝手丼を食べたことがない人がたくさんいて、それもまたいい例会だったなと思っています。

東堂委員長が率います国際奉仕委員会では、台北の周年と、そして世界大会、またグローバル補助金の贈呈式など本当にグローバルに活躍をしていただきました。

そして青少年奉仕委員会岩田委員長です。こちらも年当初に市民球場で開催できた野球大会から、年度終わりのライラセミナーまで1年間、本当フルで活躍をしていただきました。先ほど会長からもありましたけれど、野球に関しましては、来年度の市民球場での開催と日程も決めていただいております。2年連続、市民球場でできますので、これを機に次の年もぜひ市民球場でできれば、ずっとあそこで子供たちに野球をさせてあげたいという思いがありますので、これを機に定番として市民球場で大会ができるようにしていただきたいと思っておりますので、ぜひ来年以降引き継ぎをよろしくお願いいたします。

また、久しぶりに幹事以来5年ぶりぐらい理事会にも参加をさせていただき、楽しく過ごしてきました。今年度三役の皆さん、荒井会長のプチ講師例会かと思わせるような素晴らしい挨拶をされる会長と、そしてギャグを言っても目が笑ってくれてない池田副会長、そして会計士のくせに数字に弱い横田幹事は、日付を間違えて工藤さんにいつも怒られている横田幹事ではありますが、さすがに好評で笑いを取れる素晴らしいスキルを持っている幹事でありまして、そんな三役の協力のもと奉仕プロジェクト委員会は皆さまの協力なしには成り立たない委員会です。改めて1年間お世話になった御礼と感謝を申し上げまして、引き続

きのご協力をお願いして、最後の挨拶とさせていただきます。一年間、お世話になりました。ありがとうございました。

ロータリー財団奨学推進委員会 舟木 博委員長

皆さん、こんにちは。ロータリー財団は皆さんがご存知のように、ロータリー財団寄付推進委員会、米山記念奨学会、嵯峨記念育英会の三つで



す。時間がないので端的にお話します。この中で長年の問題もありまして、ひとつずつ言っていくと、今回もそうなのですが、総勢で20名ほどのメンバーでやっておりますが、実働はその半分以下というのがうちの委員会の実情でした。その中で、三つぐらいの問題があるのです。それをひとつずつ解決していくためには、メンバーの質を少し高めて、いっぺんにというわけにもいきませんが、重点的に若手の素晴らしい人間が寄与して、そして実働70%から80%ぐらいの稼働率になるようにしていただければ、解決するのではないかなと思っています。

ロータリー財団寄付推進委員会の問題ですけど、うちのクラブは金額としては、そこそこの金額をやっていますけど、大口の寄付者に頼るような形ですから、それをみんなで分割するような形で金額を多くできたらいいなというのがひとつの問題です。

米山記念奨学会ですけど、私が入ったところは留学生がいました。みんなでいろいろフォローすることがあったのですが、ここをずっと100名を超すクラブで、ほとんどというか全く受けてないのです。それも何とか解決したいなという問題です。あと、嵯峨記念もそうですけど人数が少し減り気味なのと、ばらつきというか、偏りがあるので、昔のように各高校から1人ぐらいずつバランスよく取れるといいなと思っています。

これが感想です。時間がないですね。これで終わります。

横田 英喜幹事

幹事の横田です。1年間を振り返ってといいますと、幹事の仕事は例会の運営を責任持っていく。そして理事会の運営があるのですが、先ほどからお話が出たように、こういう性格でミスも多くありました。冒頭、言っていましたとおり、



一番年長の池田副会長の安定感のある司会で何とか形を保ってることができて大変感謝しております。ありがとうございます。

あと会長のお話からもありまして、日理副幹事、途中で田坂副幹事が転勤によりいなくなりましたが、そこを支えていただき、また、Facebookはかなりいろんなところから反響を受けているのを感じておりました。大変な作業だと思いますけれども、ロータリーの活動を発信していただくことではすごい貢献をしていただいたと思います。ありがとうございます。

あともう1人、小野田さんについては、去年の4月に入ってきたばかりなのです。なのに、もうこんなに皆さんと馴染んでいただき、ロータリーのこともわかっていただいて、今となっては「いなければ、もう困ってしまう」と。私もロータリー事務局に結構行くのですけれども、最初はよそよそしかったのですけれども、今、話していても、自分の仕事を中心に聞き流してもらえ関係にまでなって、よく仕事のできる事務局になっていただきましてありがとうございます。荒井会長とは去年のカルガリーから始まりまして、信頼関係を築けているかなと自分では思っています。あと、『笑顔と誇りを胸に挑戦するロータリー』とありますけれども、荒井会長の笑顔には2種類あるのです。

ひとつは、ちょっとあきれ返りながらの“くしゃっ”という笑顔と、これは面白いと思ったら“顔が崩れるぐらいの笑顔”です。その顔が崩れるぐらいの笑顔を勝ち取ったときには、今日も1日良かったなど。自分は、それを思いに1年間やってきました。今回も、こんなの書いているのですけれども、荒井さんの写真を持ちながら、何も原稿がない状況なののですけれども、これだけ荒井さんを好きになってしまったという、1年間の私の報告になります。

改めまして会員の皆さまには、一年間、大変ご協力いただきましてありがとうございます。以上、報告させていただきます。ありがとうございます。

池田 一己副会長

副会長を拝命しました池田です。時間が押しましたので司会席から失礼いたします。

一年間、本当にありがとうございました。



た。諸先輩の皆さんから副会長は大丈夫だよと言われたのですけれども、なってみて、本当に重責を感じてずっと緊張の1年間でした。

例会が始まる時は、杉村S A Aから合図をいただいて、始まってしまったらコントロールするのは司会しかいないということで、失敗も重ねながら勉強させて

いただきました。

荒井会長と横田幹事と3人である時も、それと本当に優秀な今いない田坂副幹事や日理副幹事と5人である時も、本当に楽しい三役で進めさせていただきました。

それと、荒井会長の近くにいと、横田幹事が荒井会長を好きになると言っていたのですが、皆さんも荒井会長の近くにいて、人柄が本当に好きになる、深まっていくという1年間だったな。

それと、会長の姿を見ていて、奉仕を楽しむことで、その中に“笑顔と誇り”が生まれて“新しい挑戦”に向かって行くというのを、ロータリアンとしての背中を見せていただいた1年間でした。

本当は僕の固いところから横田幹事の笑いへという順番なのですが、この横田幹事の後で非常にやりにくかったのですが、皆さんに温かく支えていただいて、失敗も笑って許していただける温かいロータリークラブで、90年の歴史ある中で、副会長という重責を預けていただきましたことを本当に心からお礼申し上げます。

一年間、本当にありがとうございました。

本日のニコニコ献金

- 荒井 剛君 無事に台北から戻ってまいりました、来年はバルセロナです。是非、行きましょう。
- 横田 英喜君 荒井会長と共に台北より無事帰って来ました。今回も大変楽しく過ごせました。来年のバルセロナも楽しみです。
- 桑嶋 洋平君 本日最後の参加日となります。会員の皆様のご健勝とロータリークラブの益々の発展を祈念致します。

今年度累計 472,420 円